

◆お名前/ご所属： 佐藤 拓輝(サトウ ヒロキ) 先生 /金沢大学 がん進展制御研究所 腫瘍動態制御研究分野

◆研究テーマ： 細胞増殖因子および高機能ミメティック・アゴニストを用いた神経保護・再生作用に基づく化学療法誘発性末梢神経障害(CIPN)の根本的治療法開発

◆助成金額： 100 万円

1：研究者になろうとしたきっかけ

家族ががんに罹患し、闘病していたことをきっかけに、「がんを知る」ことがライフワークとなり、現在に至ります。

2：助成研究の内容紹介

組織の保護や再生を促す活性を持つタンパク質を用いて、抗がん剤治療の副作用として現れる「手足のしびれや痛み」に対する予防・治療効果を検証します。

3：2の将来に繋がる結果予想・目標

抗がん剤の副作用に対する予防・治療法を確立することは、がん治療の期間を適正化し、治療効果を適切に引き出すだけでなく、闘病する患者さんの負担を減らし、生活面をサポートする効果が期待できます。

本課題を通して、私たちががん研究者も患者さんの悩みやモヤモヤした想いを受けとめたいと思う存在であることを感じていただけたら嬉しいです。

4：全国のRFL関係者に一言メッセージ

患者さんの声を反映した研究テーマに取り組む機会をいただきましたこと、心より感謝申し上げます。年間を通じて活動される姿は、闘病中の方だけでなく、我々ががん研究者にとっても心の支えです。すぐにごがん征圧の理想を実現できない「もどかしさ」を感じているのは、我々研究者も同じです。皆さまが活動を続けてくださる限り、がん医療の現場には今日より明るい明日が訪れると思います。